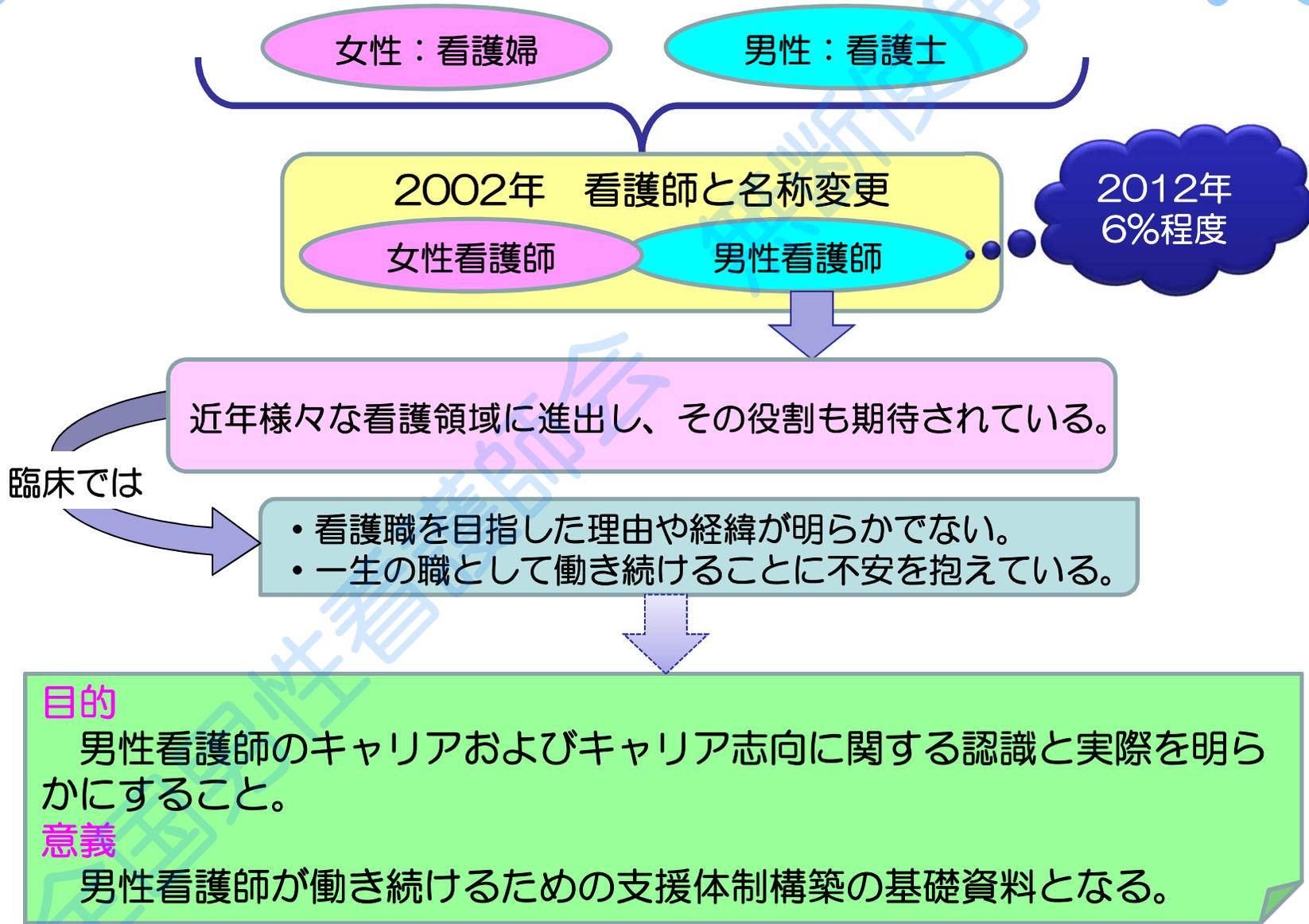


男性看護師のキャリアおよびキャリア志向  
に関する認識と実際

第44回日本看護学会学術集会（看護管理）発表

全国男性看護師会 無断使用禁止

# 目的



# 方法

## 対象

全国の150床以上の病院で、複数（2診療科以上）の診療科を有する1,150施設の内、本研究に協力の得られた544施設に勤務する男性看護師（准看護師を含む）8,539名。

## 調査方法

平成24年12月～平成25年4月に無記名の選択式一部記述式の自記式質問紙調査を実施し回収は、回答者本人による郵送法とした。

## 分析方法

各項目（選択式回答）の無回答を除き、記述統計を行った。また、自由記述については、内容の類似性により分類した。

## 倫理的配慮

研究代表者が所属する施設の倫理審査会の承認を得て実施した。

# 結果

## 回答者の背景

### 回答者

3,713名 (回収率43.5%)

### 回答者の年齢と経験年数

平均年齢 33.2±7.8歳

平均臨床看護経験年数

9.54±7.4年目

### 社会人経験あり

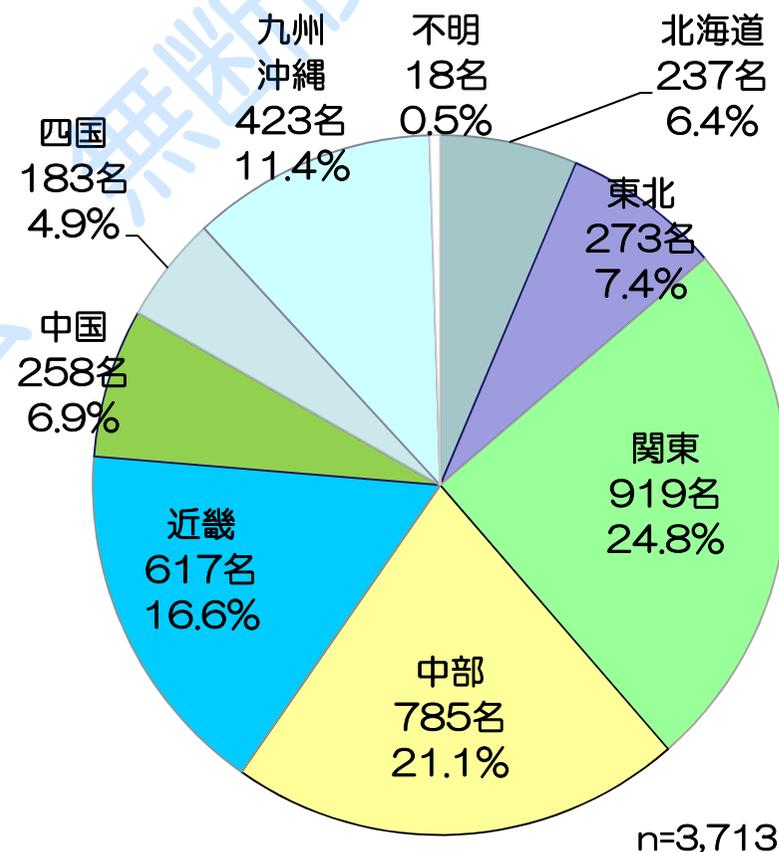
1,147名(31.3%)

### 配属先

最多、内科系病棟543名(14.6%)

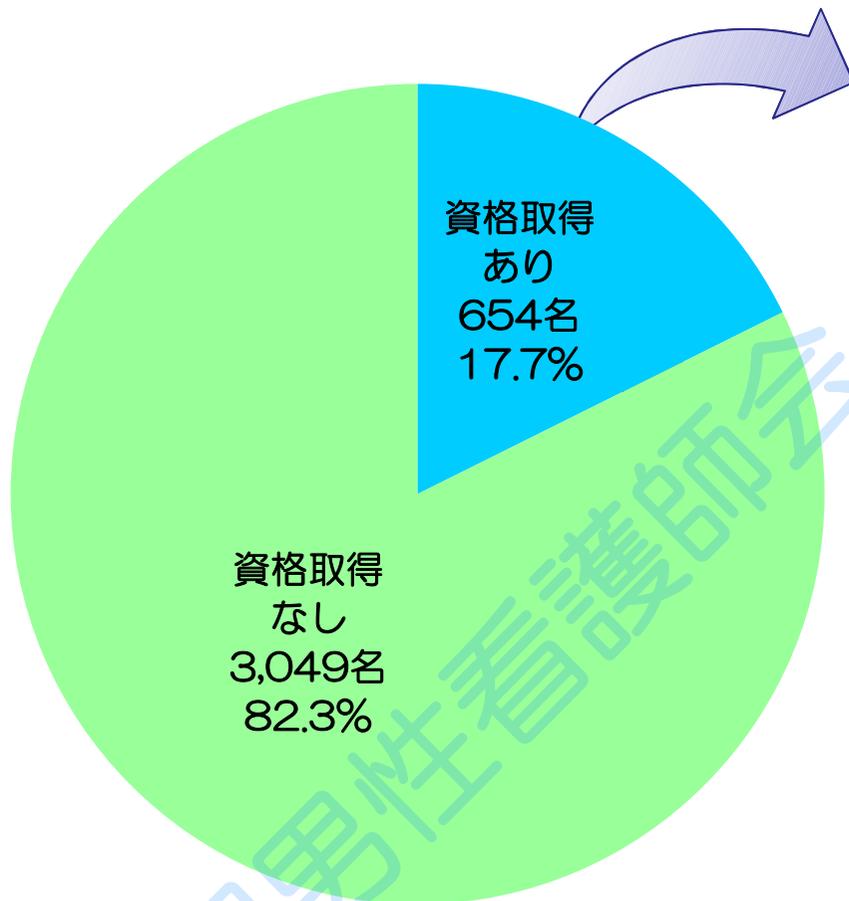
次いで、混合病棟542名(14.6%)

### 回答者の勤務施設の所在地



# 結果

医療職関連の資格取得の有無とその内容



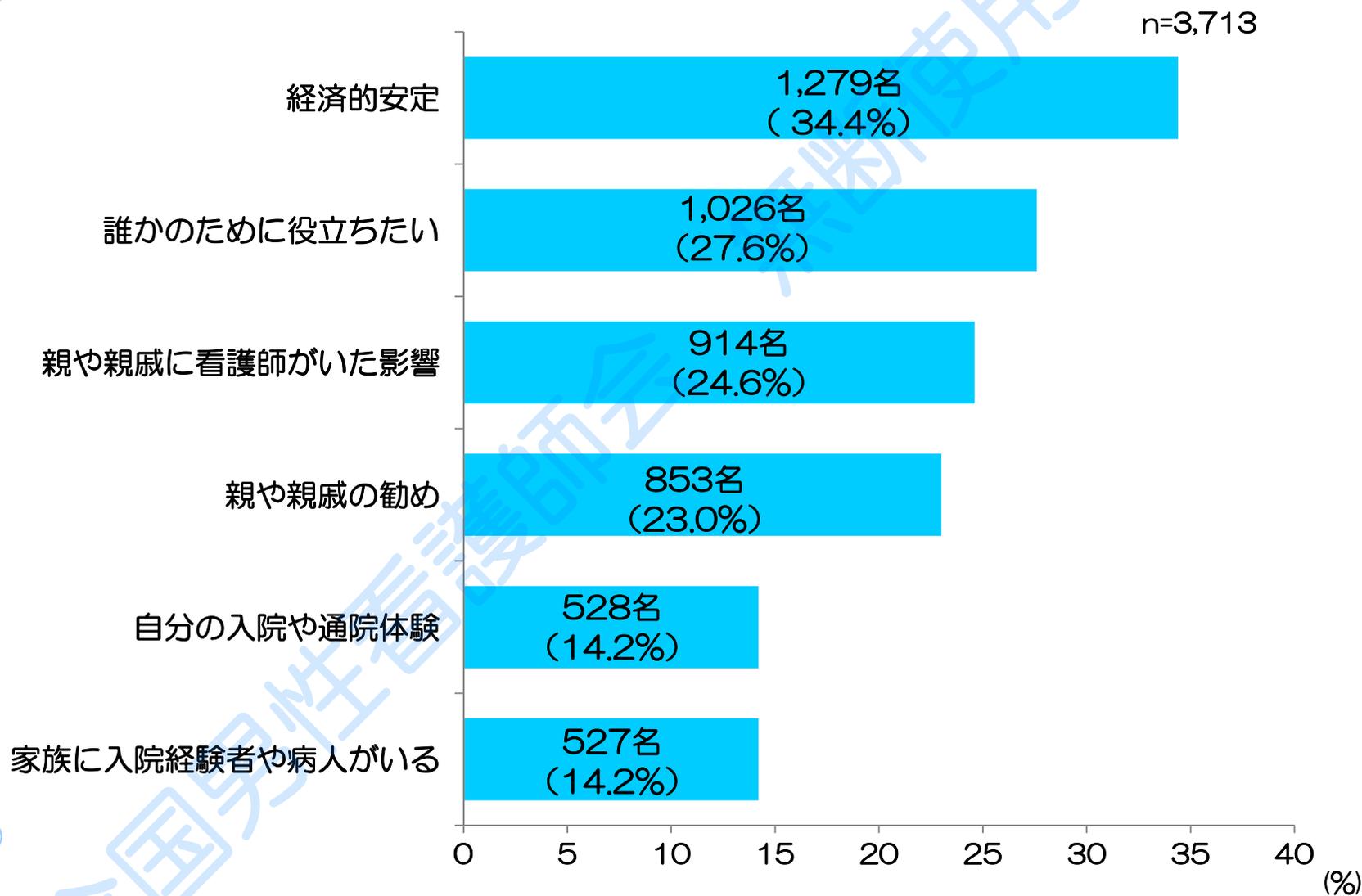
## 資格取得 一部抜粋

- 呼吸療法認定士
- 認定看護師
- 認定看護管理者
- 専門看護師
- 救急救命士
- 糖尿病療養指導士
- 内視鏡技師
- 透析療法指導看護師

など

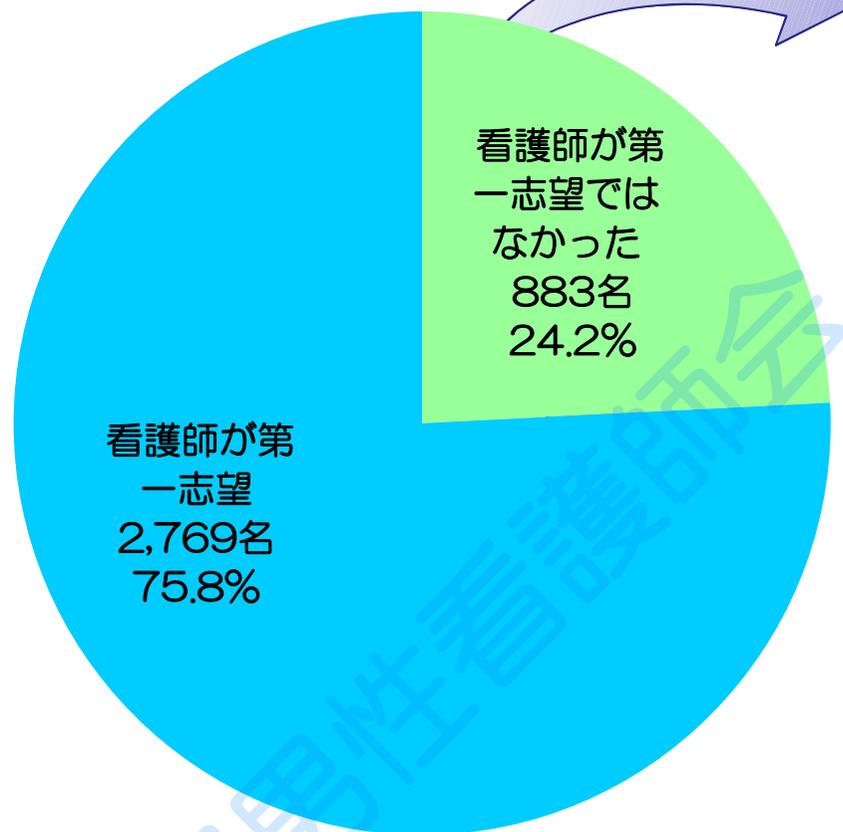
# 結果

## 看護師への志望動機（複数回答）



# 結果

受験を検討する際の看護師以外の職業志望



n=3,652

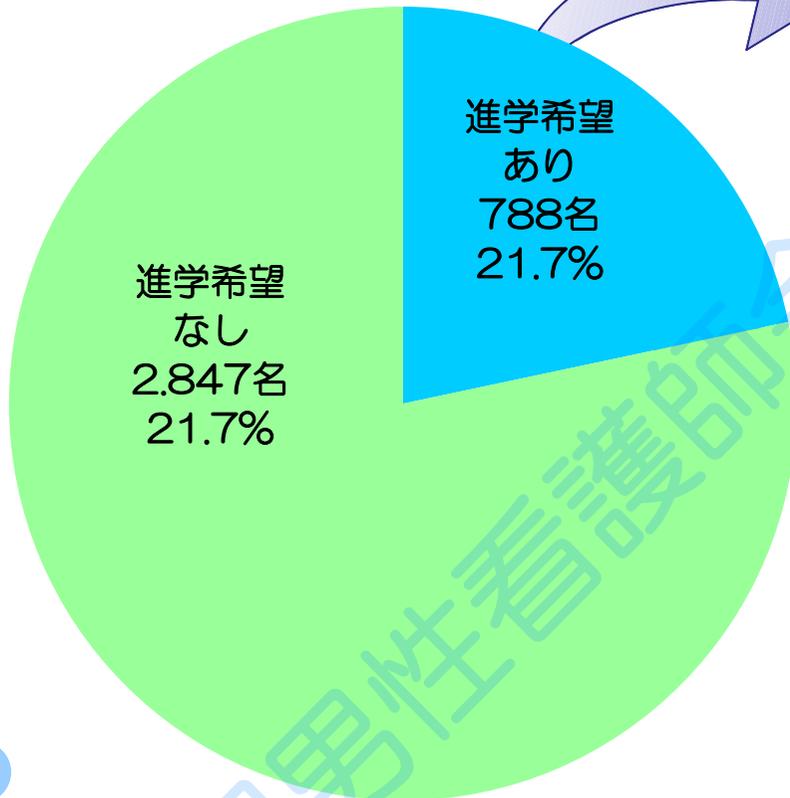
## 第一志望であった職種

- 医師
- 薬剤師
- 理学療法士
- 放射線技師
- 作業療法士
- 臨床工学技士

など

# 結果

## 看護職関連を含む教育機関への進学希望



n=3,635

### 最終的な進学先

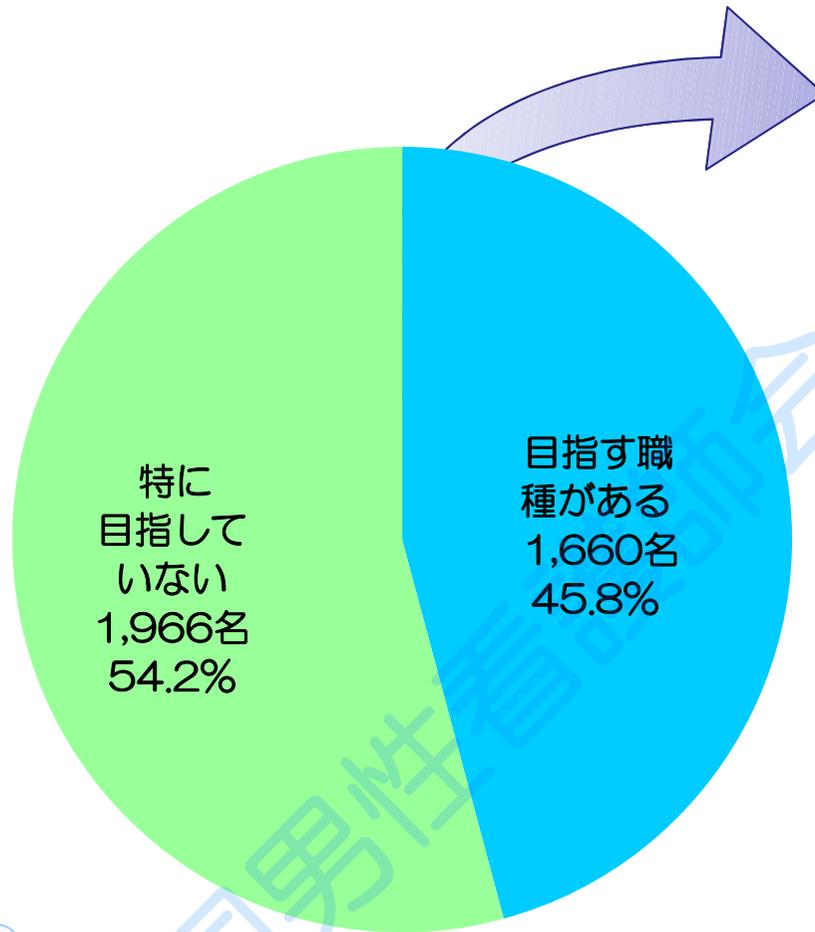
記載者777名

- 大学院修士（博士前期）課程  
342名（44.0%）
- 4年生大学編入  
217名（27.9%）
- 大学院博士後期課程  
66名（8.5%）
- その他  
（認定看護師養成校など）  
106名（13.6%）

など

# 結果

将来的に目指そうと考えている看護関連職種の有無と内容



n=3,626

## 将来的に目指す職種

記載者1,620名 / 1,660名

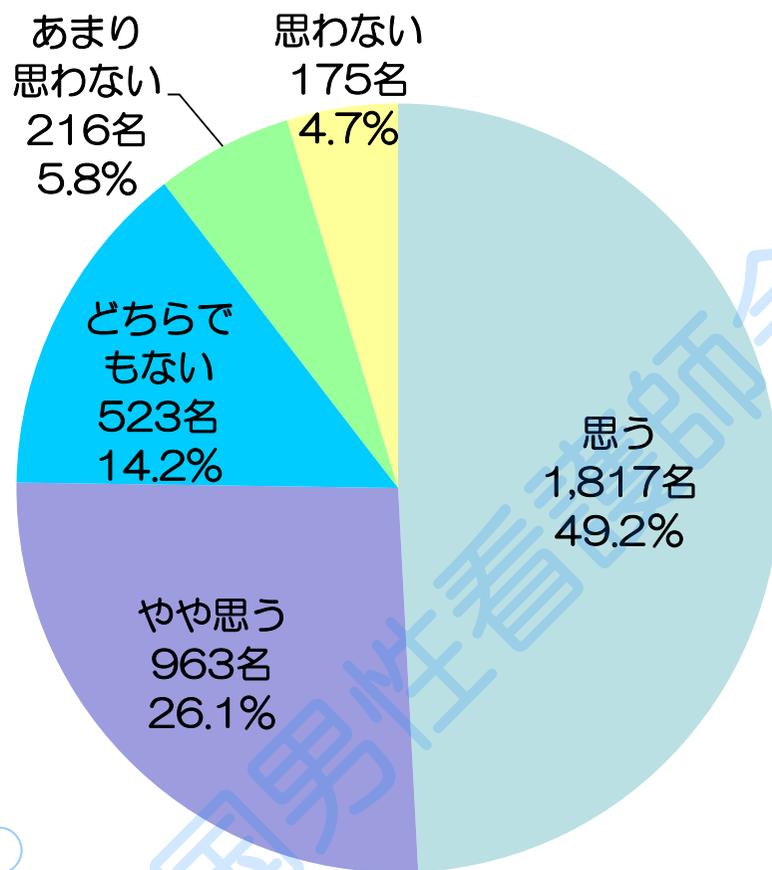
- 認定看護師  
695名 (42.9%)
- 管理職  
296名 (18.3%)
- 専門看護師  
288名 (17.8%)
- 看護教員  
168名 (10.4%)

など

# 結果

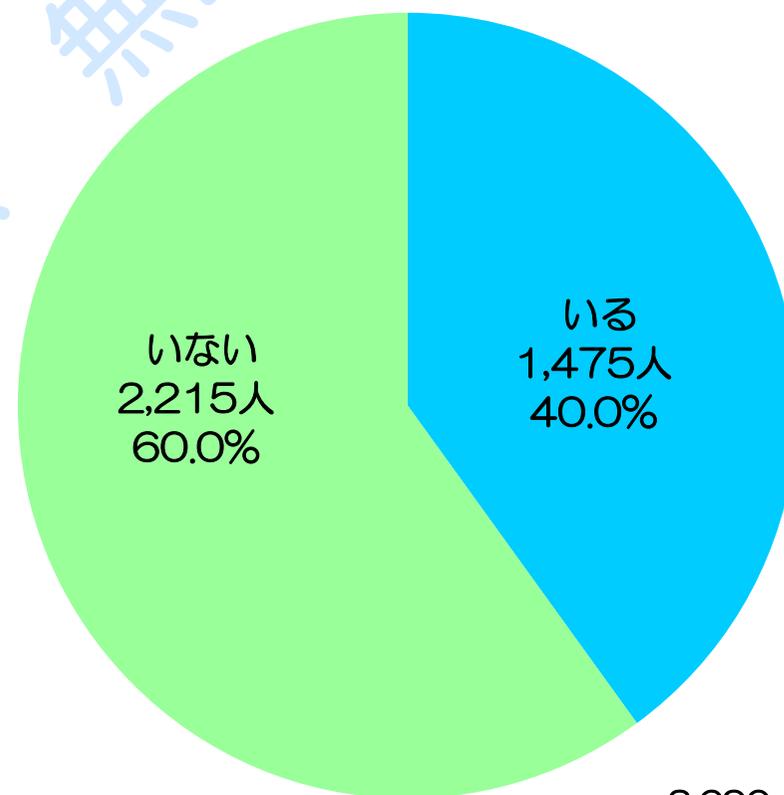
## 職務継続とモデル役割となる男性看護師の影響と実際

### 看護職を継続していく上でモデルや目標とする男性看護師の必要性



n=3,694

### 身近にモデルとなる男性看護師の存在



n=3,690

## まとめ

- 多くの男性看護師は、看護師を第一志望としていた。
- 社会人経験を有する者は3割存在しており、志望理由の上位が、「**経済的安定性**」であることから男性として家庭における「**生計者**」としての特徴が示された。
- キャリアに関して、進学希望を考えている者は2割程度である。しかし、すでに何らかの資格を取得していることや目指す職種があると考えているものが約半数以上であり、比較的キャリア志向が高いと考えられる。
- 職務継続において同性の役割モデルを必要と認識しているが、身近には少ない現状である。



- キャリアアップの希望に則した支援体制づくり
- 同性のモデルとなる存在との交流の機会の場の設定